

5月の暮らし

道路河川をきれいに
公共の施設をたいせつに
紙くずを散らさない

広報かわにし

発行所 川西町役場 編集人 星名四郎
 発行長 川西町 印刷所 白南風
 (町長 中村壮吉) 定価 1部5円

—人口の動き—

5月1日現在

男 6.285人
 女 6.621人
 計 12.906人
 世帯数 2.628世帯

保育所スナップ

待ちに待った季節保育所がはじまりました。「田も畑も忙しくなっておろちはおとうさんおかあさんも留守だけどボクもワタシもちつともさびしくなんかない。保育所には90人ものお友だちも、先生もいるし、おやつだつて、おいしい給食だつてあるんだもの。」 (上野にて)



五月の行事

- 一日 青少年保護育成強調月間
- 三日 憲法記念日
- 四日 成人式 (川西中学校)
- 四日 上野地区敬老会
- 五日 元町ポンプ入魂式
- 五日 慰霊祭 (川西中学校)
- 五日 上野・千手地区消防演習

こどもの日に寄せて

風かおる背空に鯉のぼりが威勢よく泳ぐ五月五日はこどもの日、川西町約三四〇〇人のよいこたちが元気にこの日を祝った。

三十八年の学校基本調査によると小学校児童数は、

全国 一〇四七万人
 (川西町 二六五八人)
 中学生数 (川西町 六九六万人)

今月の話題

幼児数 全 国 八九八万人
 (川西町 一一七八人)
 計全国二六四一万人
 (川西町約三七八〇人)
 ということになる。
 昔とくらべて今のこどもは大きくなったといわれる。三十八年度国民栄養調査では、

全国	川西	身長	体重
男 三才	男 三才	一四五〇cm	一五・五kg
女 三才	女 三才	一四三〇cm	一四・七kg
男 四才	男 四才	一四七〇cm	一七・七kg
女 四才	女 四才	一四五〇cm	一六・七kg
男 五才	男 五才	一五二〇cm	二一・八kg
女 五才	女 五才	一五〇〇cm	二〇・八kg
男 六才	男 六才	一五七〇cm	二六・八kg
女 六才	女 六才	一五五〇cm	二五・八kg

- 八日 山野田ポンプ入魂式
- 十日 国体旗リレー打ち合わせ
- 十日 愛鳥週間
- 十日 母の日
- 十一日 春の全国交通安全運動
- 十三日 水防組合総会
- 十五日 郡議長会 (役場会議室)
- 二十日 国体旗リレー
- 二十五日 固定資産評価審査委員会
- 二十五日 中魚税務研究協議会

全国一才

男 一毛二cm 四六kg
 女 一五・八cm 四八kg
 川西一才 男 一五・四cm 四八kg
 女 一五・五cm 四八kg

昔の日本人平均身長が五尺約一五〇センチだから一四才にしてすでに昔のおとな並ということになるが、川西町の三才児たちは全国的に少し発育が悪いとみられます。まず栄養、環境の向上が望まれます。また教育統計によるとこれからはお大きくなる予想され、五〇年後には一四才で男一六五・六女一五五・九と西欧的スケールまで成長するとのことである。

昭和四〇年こどもの数は全国で二四七〇万、六〇年で約二、三〇〇万となり総人口に対することものの割合は、三〇年度の約半分になる予想で、ひとりっ子、ふたりっ子が各家庭とも多くなった。

産繁期を迎え各地域では季節保育所が開かれ、また小中学校とも設備・内容とも着々充実しつつある。すべてのこどもがしあわせにすこやかに児童憲章がつくられた。川西町のこどもがよき環境のもとですこやかに、しあわせに暮らせるよう、こどもの日に寄せてみんなで見守りたい。

一町議会報告一 監査委員選任に同意 選管補充員も更新

三月定例会終了後四月十三日に第四回臨時会を招集、専決処分報告二件(三十八年度分子算追加)のほか、別項のとおり選管補充員の選挙を行なった。ついで四月三十日第五回臨時会を招集して懸案の監査委員選任同意の件を審議決定のち、議員提案による「固定資産評価に関する意見書」を上程これを可決した。

両日とも本会議は人事を主体としたもので、比較的短時間で終了しあとは全員協議会に切り替えて、学校建築その他当面した問題の処理について協議した。

和久井(知識経験者) 小林(議員) 両氏に決定

地方自治法の改正によつて必置となつた監査委員については、三月定例会において、三月定例会において、条例が制定され、議員のうちより選出一、知識経験を有する者一の名定数二名とし、これを非常勤とすることが定められている。このうち議員の中から選出される一名については、町長の要請により議会において互選の結果、小林伝司氏を予定者と決定していたが、一般から選出するいわゆる財務管理または事業の経営管理について専門の知識または経験を有する者についての入選が遅れていたところ、和久井耕一氏を選任することに決定、今回議会の同意を求めるとなつたものである。

結果として二人とも議員から選出された形となつたので、この点について「法的にさしつかえない

税負担の軽減を要望 固定資産評価について意見書

ことしは固定資産の評価替えが行なわれる年に当たっており、評価基準はすでに自治省から告示されている。しかし、この基準によつて評価したのでは当該地方の住民の過重負担は救えないとして、その軽減措置を要望するため次のような意見書を、自治省・大蔵省等の関係行政庁へ提出することとなつたもの。

この問題は、津南町議会において取りあげられたのが発端であるが、単に一町村だけで議決してもその効果は薄いと見て、近く郡議長会、町村会等を通じて広く三魚沼その他共通の地域全般に呼びかけようというものである。

意見書

一 要 旨

国が固定資産の評価基準を定めるに当たり、豪雪地帯における特殊事情を十分考慮され、住民の税負担が過重とならないよう適切な軽減措置を講ぜられるよう要望する。

二 理 由

地方税法の規定によつて昭和三十九年度に行なわれた固定資産の

で行なわれ、次の四名が当選した。
大井長太(水口沢) 五八才
小海八太郎(小根岸) 六〇才
木村正吉(仁田) 六三才
高橋喜栄(高倉) 五七才

交通モニターの委嘱状が田中さんへ

四月十三日第四回川西町臨時議会の席上、交通モニターとして新潟県知事からの委嘱状とモニター証が中村川西町長の手から議会副議長十日町地区運転者協会副会長の田中三郎氏に伝達されました。田中氏はモニター制度が実施された昨年に引き続き再度委嘱されたものですが、交通モニターというのは取り締まりと指導を任務とする警察官とは別に民衆の声を反映させるための監察制度ともいひ、新潟県交通対策協議会長である県知事や交通関係の有識者の中から適任者の推せんを依頼しその推せんに基づき委嘱するもので、新潟県下で三百六十六人(内十日町市二名川西町一名、津南町一名)が交通モニターとして活躍されています。それでは交通モニターとは具体的にどんなことが任務とされているのかといふと、

要として、他の地域とは比較にならない規模、構造のものを維持管理しなければならぬのであります。また、耕運機その他の農業用設備についても、融雪から降雪まで稼働日数わずかに百八十日余という富農上の制約を受けながら償却費を度外視してむをを得ず施設している実情であります。

このような状況の下に前記のような方式をもって固定資産の評価を行なう場合においては、単に固定資産税のみに止まらず、相続税不動産登録税その他この評価を基

準とするすべての公租公課にまでその累を及ぼす結果となりますので、豪雪地帯の実態に即して、早急に評価基準を改められるよう要望いたします。

地方自治法第九十九条第二項の規定に基づきここに意見書を提出いたします。

昭和三十九年四月三十日
新潟県中魚沼郡川西町議会議長 南雲 章
新潟県知事 塚田十一郎 殿
自治大臣 赤沢正道 殿

一、交通の安全と秩序の保持を図るための具体的な施策に関すること。
二、交通事故防止及び交通行政の運営に関すること。
三、交通安全の指導教育に関すること。
四、交通事故防止及び交通安全の善行者に関すること。
五、信号機道路標識道路標示その他安全施設に関すること。
六、その他交通の安全と秩序の保持に必要な事項に関すること。

このためには農地の利用度はきわめて低く、家屋については豪雪に耐える強度と、住家を雨雪天作業場を使用するためのスペースとを必

老人は変わる

数年前のこと、古代文化の究明を目的としたイギリスの学術調査団が、エジプトにおもむいたことがあった。ある日、ホラ穴の奥から、太古の文字が書きまされた一板の銅板を発見した。どういいう意味のことを書いてあるのかサツパリわからず、本國に持ち帰つて専門の字者に解説してもらつたら、何と、今どきの若い者はなつていない、と書かれてあつたとか。

新旧の世代のズレは、何も今に始まつたことではないらしい。数千年の昔から、れんめんとしてくりかえされてる悲しい宿命だと思わざるを得ない。老人はガンコだ、わからずやだ、困つたもんだとボヤいてる若いわれわれも、

建築基準法第十五条の届け出について

建築主が建築物を建築する場合または建築物を除却するときには工事着手前に役場経由で県知事に届け出なければなりません。ただし建築物の床面積の合計が延一〇〇㎡(三坪)以内の場合には必要ありません。

届け出のときに必要な図面は左記のとおりです。

(1)床面積延一〇〇㎡(三〇坪)以上の場合設計図二部

1. 附近見取図

2. 配置図

3. 各階平面図

4. 短計図

ほかに建築主の印鑑と手数料五〇円設計図には設計者の印を必ず捺

数十年前には、子や孫から同じようなことをあつてぶやかれるのであらうから。

十年一昔どころのさわざではなう。地球の向うでいま起つていゝる事態が、そのまま茶の間のテレビに飛びこんでくる時代、月世界への旅行まであつていゝきといふ時代である。前近代的な人間関係の悪しゅうなかんかに、ただノホンとしていていいはずがないと思ふのだが……。

社会教育

おかあさんたちの学習の場に出てみると、いつもズレのことが問題になる。「行儀よく、黙つてよかんて食べるもんだ」という年より、「きらくに、家中で楽しく語り合ひながら食事するのがほんとうだ」という子ども、そうした

印のこと(一、二級建築士)

(2)床面積延一〇〇㎡以下(三〇坪)の場合設計図二部

1. 附近見取図

2. 配置図

3. 各階平面図

4. 短計図

ほかに建築主の印鑑と手数料五〇円

(3)除却届け出の場合には図面の必要はありませんが印鑑と手数料五〇円をこ持参ください。

(土木課建築係)

郵便局だより

最近生活水準の向上や物価の上昇などで限度額の引き上げ要望が強くなつてきたので、四月から一人百万円まで加入できることにな

両者の間に立つて、ただオロオロしている母親はまだいる。

また昔のことを聞かされた、今の時代をわかつてくれない、という声をよく聞く。が、年よりの立ち場になつて考えてみると、社会の変わりかたがあまりにもはげしすぎて、ちつとよそつとではいつてゆけない、といったナヤミがあるようだ。「わからずやで困る」という前に、

も、とわかつてもらえような努力を、われわれがする必要がある。婦人学級や婦人会の勉強が実つて、年よりに集まりの機会をつくらせてやつた部落がある。まわりの人のお手伝いから脱して、自主的に運営されている老人学級がある。岩瀬のたかさご会、中仙田のニコ

りましたので加入ください。

・特別養老保険として契約途中病死した場合は保険金が二倍、不慮の事故死の場合は三倍の保険金が支払われる制度が新しくできました。

・なお、四月からの契約には今秋開催される東京オリンピックにちなんで記念証書が発行されます。

・簡易保険積立金の融資(市町村の借入金)の申し込みは年々増加し、ことしは約二千億円に達し義務教育(小中学校)施設費その他公共施設(道路、橋、病院など)費として地方財政の有力な資源となつております。

春の交通安全旬間実施

詳細は郵便局におたずねください

ニコ会、田戸のえびすクラブ、山の根(坪山・霜条・鶴吉)の長寿会、東山(東善寺・山ノ田・四郎兼・中島町・発電所通り)のことぶき会などがそれ、おばあさんだけで集まつていた上野のときわ会は、おじいさんも仲間に入れた老人クラブとして発足した。

待ちわびて、うれしそうに集まつてくる老人たち、学ぼうという意欲に満ちた顔はじつに明るい。今の時代を理解しよう、だからも好かれる、だいにされる年よりになる、という気持ちがある、飲み食いよりも月一回の絵ときを期待してくるようになった。これまでの老人たちをささえてきた思想、古い明治のバックボーンが、ひとつひとつ、新しいものになつてらうとしている。

五月十一日から二十日までの十日間を春の交通安全旬間と定め、国ぐるみで取り組む交通安全事故防止の一大運動が展開されます。特に団体開催を目前に控えた本県の場合新潟とひと目でわかるよい交通をモットーとして川西町の町民の皆様も川西と一目でわかるよい交通法規を遵守して事故のない明るい町、明るい交通の推進に一段の認識と助力をお願いします。

冬物の整理はすみましたか

さわやかな季節になりました。こたつがけや、不用のふとんの始末はすみましたか。

冬物をクリーニング屋に出すときはポケットの中や、ボタンをよく調べます。特にオーバーのボタ

ンは紛失すると高くつきますからゆるんでいたら必ずつけ直しておきましょう。

モグラの防ぎ方

野菜畑でも花壇でも、新しく耕したあと、モグラがじゆうおうに歩いて困るがとくに苗を植えた植えすじの下を歩いて、根の下に穴をあけ、てきを悪くしひどいと枯らしてしまふ。

これは、植えすじにほどこしたたひびに集まつたミミズを食うためである。

この害をさけるには、たいひを植えすじにほどこさないで、畑全体にまいてすきこむようにするかまたはほどこす前に、たいひに防

園芸メモ

防虫薬に

わたしは、毎日たばこの吸いがらを、ただ捨てるのは惜しいと思ひ、あきんどに集めておき、これを夏野菜の害虫防除に使つていゝがアブラムシの駆除にはたいへん効果がある。

使い方は、たばこの吸いがらをよく水に浸してその汁を噴霧機でまけばよい。

こうすると簡単にニコチン液が得られ、アブラムシの駆除も容易にできるのたいへんべんりである。

今月はあなたがモニターです

広報が、役場のご用報知紙であるという印象は止むを得ないのだから、できれば、もつとくだけて、社会的な記事も多くしてほしいのだが。婦人会や青年団の情報も多分に掲載し、十年一日のごときこれらの団体を、何等かの刺激によって、反省なり進展なりに寄与するよう方向にみちびいてほしい。紙質や輪郭はこれで上等

もらいたい。かわにし俳壇の選者時は毎回載せるべきだ。毎号の「社会教育」は、そのつと適切なものをとりあげていて読ませてくれるが、たまにはやわらかい文章で、あるていどふざけたものがあつてもいいのではないか。編集者の苦心を十分に承知の上であえて苦言を呈させてもらつた。あしからず。

川西町岩瀬 金子 数 栄



だ。忘れかけている新生活運動面の記事や、町の声をできるだけ多く掲載して

戸籍の窓から

うぶ声—御すこやかに

- 大井紀子 喜一郎長女 木島
- 中村典夫 貞吉長男 木島
- 柄澤博志 林蔵長男 沖立
- 数藤隆行 輝夫長男 沖立
- 高橋清子 隆一長女 坪山
- 樫間茂佳 利一長男 伊友
- 澁谷晴彦 和市三男 山野田
- 市川由美 基三女 平見
- 平野知廣 米蔵長男 四郎兼
- 星名英雄 健二二男 元町
- 小海美智子 正雄長女 小根岸
- 小海弥生 益男二女 小根岸
- 野澤裕子 正夫長女 野口
- 高橋透 久治長男 仁田

— 国体旗りレ—

五月二十日に町を通過

新潟国体の国体旗りレがこの町を通過するのは五月二十日とまじりました。時間は午後一時三十分から二時半の間で、コースは橋の取安橋で小千谷市から引き継ぎを受け橋出張所・上野連絡所・千手高嘉・信組前の順にまわり、真喰橋上で十日町市へ引き渡されます。

この国体旗は四月末に前年の国体の開催地山口県を出発し、五月

- 丸山直子 和徳二女 根深
 - 小川美和子 正広長女 赤谷
 - 高橋安幸 幸一長男 高倉
 - 高橋正巳 由一二男 中仙田
 - 押木 強 文平長男 田戸
- 昇天—御めい福を祈る**
- 齋木丑太郎 高倉 八四
 - 大久保ヤス 野口 七七
 - 山田輝治 仁田 七五
 - 保坂キノ 大白倉 七五
 - 須藤米平 下原 六八
 - 関口快依 沖立 五九
 - 高橋基平 下平新田 五八
- たかさご—御円満に**
- ◎新郎 太田寅治 田中
 - ◎新婦 小林エツ 中屋敷から

農業に学ぶ

田中正信

十四日に糸魚川市から新潟県にはいります。そして六月六日県営競技場の開会式にのぞむわけです。

青年団で農業を勉強したい!! ということを以前から私たちの、あるいは先輩のだけれど望んでいたに違いない。しかし一年に何回も講師を頼むほど、青年団では予算がない。そうかといって自分たちだけでそれをやってゆけだけの力もなかった。そういう時代が長

- ◎新郎 丸山敏夫 高原田
- ◎新婦 春日フミ 山谷から
- ◎新郎 渡邊 強 鶴吉
- ◎新婦 川崎ヤヨヒ 室島から
- ◎新郎 小海英吉 稲條
- ◎新婦 清水ユキエ 寺尾から
- ◎新郎 星名辰治 学校町
- ◎新婦 長谷川リツ 学校町から
- ◎新郎 星名一雄 沖立
- ◎新婦 黒島セイ 伊友から
- ◎新郎 柄澤富壽 沖立
- ◎新婦 齋澤洋子 四日町から
- ◎新郎 清水幸夫 寺尾
- ◎新婦 清水 信 東善寺から
- ◎新郎 山崎芳夫 中央町
- ◎新婦 長津久子 川治から
- ◎新郎 小林貞雄 元町
- ◎新婦 清水キヨ子 下平新田から

- ◎新郎 渡邊二郎 新町新田
- ◎新婦 田口文江 上野から
- ◎新郎 山口隆也 仁田
- ◎新婦 須藤紀子 仁田
- ◎新郎 丸山史朗 仁田
- ◎新婦 佐藤 圭 田から
- ◎新郎 山家文夫 木落
- ◎新婦 丸山ミキ 根深から
- ◎新郎 田口秀正 木落
- ◎新婦 田口敦子 木落から
- ◎新郎 南雲直秀 中仙田
- ◎新婦 高橋光江 中仙田から
- ◎新郎 茂野文司 藤原
- ◎新婦 渡貫ハツ子 新町新田から
- ◎新郎 金子澄男 岩瀬
- ◎新婦 岡野ヒロ子 鎌倉から
- ◎新郎 登坂佐門 岩瀬
- ◎新婦 高橋柳子 松代から

く続いているうちに、農業は曲がり角に立ち、村の青年団は若返り、減り、青年は農業に自信がもてず、振りむこうともせず、稲穂を手にとってみてもなく、たとえ機械化されてもそれにともなって生産が高まるわけでもない、逆に収計は苦しくなるいっぽう。こういう実状の中で築き、生活の設計を立てようとする私たちは、青年学級に仲間入りするまでは、いつも不安な暗い毎日の連続でした。

農業コースはことし始めてでもあり、講師が非常に忙しい身であったため、二回ほど講座という形で水稻を中心に学習しました。まだ学習が楽しい、真剣だというより、青年学級で学べるという幸福感にひたっている現状です。

四月からはもっと早くから苗代づくり、土壌調査、肥料設計など

だが長い目でみた場合、今のような姿をそのままのぼしては行かないで、何かこの土地によく合った新しい農業、作物、作業方法などを考え研究し、それらを発見して私たちの若さと努力と協力によって、開拓してやるべきことが農業グループ最大の目的であり、焦点であるとおもふ。

(青年学級機関紙 「若竹」より)

今月の部落だよりは、鶴吉、籍条をたずねてみました。

この部落は、どの家にも同じような鉄骨づくりの野外舎(番室)

がある。それというのは、裏山を利用して広大な原野菜園の造成にいたり、その野外舎にカイコを飼育する。家を汚さず、はいたままの外でなんてという不安はまったくないという。カイコのない期間には必要に応じて農機具の置き場所になり、一石二鳥とこのことであり現在あちこちでその組み立てがはじまっている。

※税の相談日
毎月五日・十五日・二十五日、五日の日が休日のときは翌日おこないます。

※人 事
新任 国保衛生課
小林十八 四月十一日付
新任 教養課
大澤悦子 四月二十日付

があら。それというのは、裏山を利用して広大な原野菜園の造成にいたり、その野外舎にカイコを飼育する。家を汚さず、はいたままの外でなんてという不安はまったくないという。カイコのない期間には必要に応じて農機具の置き場所になり、一石二鳥とこのことであり現在あちこちでその組み立てがはじまっている。

なお、この競技には「30秒ルール」という規則があり、1チームがボールを保持したら30秒内にシュートしなければならぬので、いきおいゲームはスピード化されめまぐるしい攻防が展開されなかなかももしろいゲームです。

1部1チーム12人までで、国際バスケットボール連盟で選抜した16チームが参加するもので、このうちには日本は開催国チームとして加えられております。

オリンピック東京大会

バスケットボール

競技は5人1組で行なわれ、20分ずつ前半、後半をたたかい(ハーフ・タイム10分)得点の多い方を勝ちとします。得点はフィールド・ゴールが2点、フリー・スローが1点になります。

戦法としては、攻撃に速攻、遅攻、防御にマン・ツー・マン(対人防御)とゾーン・ディフェンス(地域防御)とがあり、速攻とは相手の陣前スपीドイヤーに攻めてむもの

花菱す父の名宛の種子届く知事を持つ人等に杉の花ふりぬ

大倉 高橋 波杏

大倉 金子 洋石

到来の新茶汲むと呼びに來し

一気に春が押しよせた繁忙の耕しの中にもゆったりとした句が生れる。そういう心の持ち方も生活の上に尊いものであると思う。巻頭の句、ふと仰ぐ馬の輪の中に在って農耕したという情感がよい。

抱き上ぐる子に鯉のほりよく泳ぐ

—白南風—

かむにし

俳壇

太田白南風撰

小白倉 田中 緑風

〇畦塗るや馬の輪えがく中にいて

糞を播く静かに足を抜きすむ

大倉 高橋 波杏

花菱す父の名宛の種子届く

知事を持つ人等に杉の花ふりぬ

大倉 高橋 波杏

大倉 金子 洋石

到来の新茶汲むと呼びに來し

一気に春が押しよせた繁忙の耕しの中にもゆったりとした句が生れる。そういう心の持ち方も生活の上に尊いものであると思う。巻頭の句、ふと仰ぐ馬の輪の中に在って農耕したという情感がよい。

抱き上ぐる子に鯉のほりよく泳ぐ

—白南風—

